2020/07/16 22:50

多田雅史

件名: 全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会（BYA)【情報 Vol.２１５】

各位（本情報提供メールは当会会員、協力弁護士、協力医、報道機関、医療過誤団体、野党政党等の約 400 カ所へ BCC 送信しています）

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会（BYA）の多田雅史です。
本メールはベンゾジアゼピン（BZD）関連情報をお送りしています。
⑴ 新規の情報提供希望者が身近におられた場合、BYA－HP の「お問合せ」をご紹介ください。
https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/
⑵ 有用な情報をお持ちの方は本メールに返送してお知らせください。皆さんに情報提供します。
⑶ 情報の中で「拡散すべき情報」があれば、皆さんの判断で自由に「転送・SNS 拡散」してください。

【目次】
１．衆議院「ベンゾジアゼピン系処方薬物勉強会」記者会見
２．他人事ではない。障害年金を少しでも多く貰う為にしておくべき事
３．東京女子医大で看護師 400 人が退職希望「ボーナスゼロ、給料減額では最前線で働けない」悲痛告白
４．ベンゾジアゼピンを警告する団体の You Tube
５．2020 年 7 月 14 日「医薬品・医療機器等安全性情報」No.374（**添付**）
６－１．大麻検挙、過去最高更新 - 20 代以下の若年層に浸透（**添付**）
６－２．知人男性から大麻譲り受け容疑の巡査逮捕　山形県警（**添付**）
７－１．「一昔前の冤罪判決そのもの」 乳腺外科医に逆転有罪、弁護側は上告へ（**添付**）
７－２．乳腺外科医によるわいせつ事件で逆転有罪判決　医療従事者に知ってほしい被告人側の不思議な供述（**添付**）
７－３．中川日医会長「身体が震えるほどの怒り」、乳腺外科医控訴審判決（**添付**）
８．鹿児島市立病院　男児ベッド転落訴訟　和解が成立
９．アルコール依存症の恐ろしさ
１０．なぜ BYA 活動をするのか？（**私見**）

【記事】
１．衆議院「ベンゾジアゼピン系処方薬物勉強会」記者会見
Press Conference (Japan House of Reps: BZ Evidence Hearing)
ウェイン・ダグラス氏の YouTube　ベンゾジアゼピン副作用の警告　711 に向けて
⑴要約版　https://www.youtube.com/watch?v=yED_TsKOlg8&feature=youtu.be
⑵フル版　https://www.youtube.com/watch?v=g6YhNbAjz7M&t=245s

２．他人事ではない。障害年金を少しでも多く貰う為にしておくべき事
https://www.mag2.com/p/news/457425
以下引用
『万が一の病気や怪我で、日常生活に支障が出る場合の保障として障害年金があります。障害年金はその傷病で初めて病院に行くという**初診日**、そしてその初診日から **1 年 6 ヵ月経った日（障害認定日）**を迎え、医師から**診断書**を書いてもらって障害年金の等級に該当すれば障害年金が支給されます。つまり、**初診日と障害認定日、診断書による等級の 3 つの条件を満たせばいいです。**』
　さて、病気になると、退職に追い込まれ、国民保険料も払えなくなっていることがある。そうすると、保険料未納で門前払いになることもある。したがって、少なくとも退職前＝保険料納付時に「初診日」を

抑えておかないと、以後の障害年金の請求が困難になる。なかなか、病中にそこまで気が回らないだろうが、事前に知っていれば、身の周りの誰かが動いてくれるかもしれない。上記の 3 つ条件はとても重要です。

３．東京女子医大で看護師 400 人が退職希望「ボーナスゼロ、給料減額では最前線で働けない」悲痛告白
https://news.yahoo.co.jp/articles/6a72c5ab7f559bc5c45c88a99e2d19be7f10e732
以下引用
『コロナ禍でも看護師たちは毎日出勤し、リスクに怯えながら仕事しています。ところが、私たちの病院では、病院の財政悪化を軽減するためという理由で、医療スタッフの給料も減ったのです。さらに先日、夏季ボーナスが支給されないことが発表され、看護師たちの我慢は限界を越えています。本当に悔しいです』
東京女子医大は、かなり問題がある病院のようである。利益優先だ。

４．ベンゾジアゼピンを警告する団体の You Tube
https://benzoinfojapan.org/introduction/
https://m.youtube.com/watch?reload=9&feature=youtu.be&v=nHDjjwMKRCY
https://m.youtube.com/watch?v=X4VwnA3qsas
会員から情報提供があったサイト。各自でご判断下さい。

５．2020 年 7 月 14 日「医薬品・医療機器等安全性情報」No.374（**添付**）
https://www.pmda.go.jp/files/000235749.pdf
ベンゾジアゼピンには関係ないが、医薬品の副作用の収集事業は、以下の 2 ルートがある。
類似事故が複数報告されると、例えば、以下の公益財団法人日本医療機能評価機構の分析結果に基づいて、MHLW が安全性情報を発出する。(No.374 の 1 番の事例)
(1)**医療法の医療事故情報収集等事業**：公益財団法人日本医療機能評価機構が収集
http://www.med-safe.jp/
⑵**医薬品医療機器法の副作用報告制度**：独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）が収集
https://www.pmda.go.jp/safety/reports/hcp/0001.html
⑶例えば、PMDA が収集したベンゾジアゼピン（クロナゼパム）の副作用症例は 325 件ある（**添付**）。
➡2 つの医療事故等の収集ルートを通じて、MHLW にベンゾジアゼピン副作用事故の情報を分析させ安全性情報として広く医療者及び国民に提供させる必要がある。

６－１．大麻検挙、過去最高更新 - 20 代以下の若年層に浸透（**添付**）
https://www.yakuji.co.jp/entry80274.html
６－２．知人男性から大麻譲り受け容疑の巡査逮捕　山形県警（**添付**）
https://www.kahoku.co.jp/tohokunews/202007/20200714_53026.html
すでに、国外から日本への大麻・覚醒剤などの販売攻勢により、かなり蔓延しているとされている。
これで、NCNP 松本医師が提唱する「大麻・覚醒剤などの違法薬物の非刑罰化・自由化」を図らなくても放置しておけば、国内に蔓延して、「違法薬物の前科は普通の人」になるかもしれない。

７－１．「一昔前の冤罪判決そのもの」 乳腺外科医に逆転有罪、弁護側は上告へ（**添付**）
https://news.yahoo.co.jp/articles/90a3f671efafc35976442f05ebe318dcc07c4817
７－２．乳腺外科医によるわいせつ事件で逆転有罪判決　医療従事者に知ってほしい被告人側の不思議な供述（**添付**）
https://news.yahoo.co.jp/byline/ogawatamaka/20200713-00187930/

2020/07/16 22:50
７－３．中川日医会長「身体が震えるほどの怒り」、乳腺外科医控訴審判決（**添付**）
https://www.m3.com/open/iryoIshin/article/798488/
医師による施術患者へのわいせつ行為への刑事裁判、１審無罪➡2 審有罪となって最高裁へ上告した。
最高裁は、日本医師会会長の意向を忖度して、無罪とするかどうか？
新日医会長も、「会員の利益優先」の同じ人物のようだ。
麻酔中の医師によるわいせつ行為は、多々あると言われているが、立証が難しいので、無罪放免が多い。
中には不良医師もいることを覚えておかなければならない。

８．鹿児島市立病院　男児ベッド転落訴訟　和解が成立
https://news.yahoo.co.jp/articles/1719e715c043a87d3f56cfcc86e9832b8fa2af9a
以下引用
『鹿児島市立病院で、生後７か月の男の子がベッドから転落し、重い後遺症が残ったとして、男の子と両親が鹿児島市に損害賠償を求めていた裁判で１５日、市が１億８０００万円を支払うことで和解が成立しました。』

９．アルコール依存症の恐ろしさ
https://www.pref.aichi.jp/police/koutsu/innsyutirasi.html
https://www.pref.aichi.jp/police/koutsu/koutsu-s/insyujikojittai.html
名古屋のある愛知県は、全国でもトップの交通死亡事故の多さで知られている。横断歩道を渡ろうとしても止まる車はほとんどいない。赤信号で突っ切る車も多い。また、飲酒運転の事故も多い。これでは死亡事故が全国 1 位も当然だ。飲酒運転ドライバーは「飲んで運転は駄目」くらいは分かっているはずであるが、「どうしても酒を飲みたい」を抑制できない。依存性薬物が脳を支配して状態である。事故を起こす前に、薬物依存専門医の治療を受けるべきであるが、一方で、「自分は飲んでも大丈夫」とも考えている。これも、アルコールという薬物依存が招く自己本位の考え方である。**アルコールを自制できない状態は「病気」であるので、治療が必要である。**

１０．なぜ BYA 活動をするのか？（**私見**）
⑴最近、「なぜ BYA 活動をするのか？」という問い合わせがあった。**私の活動の元は、「国循病院と松本俊彦医師らへの恨み」である**。しかし、その後、「医原性副作用」というベンゾジアゼピン副作用の多くの患者がいることを知って、非道な同じ苦しみを体験している者の救済が必要だと考えるようになった。私自身は、すでに両親及び兄弟も全員他界しており、離婚により家族もいないので、特に、自分が死んでも困る人はいないし、自分の死をさほど恐ろしくも感じない。すでに定年退職して、60 歳を超えると、残る人生も少なくなりつつあるので、これまでお世話になった世の中に 1 つでも恩返しをして、人生を終えたいと考えている。したがって、個人のベンゾジアゼピン医療過誤訴訟からすでに 9 年が経過したが、BYA 活動はライフワークなので、死の時まで終わることはない。

⑵私自身が、他のベンゾジアゼピン被害者と異なる点は、医療訴訟で被告病院に勝訴（一部）している点である。したがって、被告は国立研究開発法人の国立循環器病センターであるので、国循が「ベンゾジアゼピン医療事故」を適切に、上記 5 項の、**医薬品の副作用事故の報告制度である①医療法の医療事故情報収集等事業（公益財団法人日本医療機能評価機構が収集）及び②医薬品医療機器法の副作用報告制度（独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）が収集）を通じて、「ベンゾジアゼピン薬害」を明らかにさせること**、つまり、**国循に事故の発生原因の分析、再発防止対策の検討及び国内医療機関への周知を行わせることを目標**に、名古屋地裁で個別に訴訟を継続している。**そしてそのことが、医療法の第 1 条の目的である『医療を受ける者の利益の保護及び良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図り、もつて国民の健康の保持に寄与することを目的とする。』ことを実現できる１つの方法と考えている。**

2020/07/16 22:50

⑶ベンゾジアゼピン薬害の被害者は、1 人 1 人の置かれている状況が異なるので、それぞれができること、又は、与えられた役割を果たしていけば良いと思う。

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会　多田雅史